



このスライドでは、tengoo（てんぐー）について紹介しています。



## 沼田市だけの電子マネー

利用プラットフォーム「chiica」  
(株式会社トラストバンク)



tengooは、沼田市だけで利用できる電子マネーです。



## 沼田市だけの電子マネー

利用プラットフォーム「chiica」  
(株式会社トラストバンク)



c hiica (ちーか) と呼ばれる株式会社トラストバンクの地域通貨運営のためのプラットフォームを利用して運営します。

## 利用者がtengooをチャージ

## 市内の加盟店で利用



tengooは、アプリまたはカードに現金でポイントをチャージして、加盟店でのお買い物に利用する仕組みです。



1円 = 1てんぐー + **プレミアムポイント**



チャージのレートは、1てんぐー1円です。



1円 = 1てんぐー + **プレミアムポイント**



さらに、チャージしたポイントと同じように1てんぐー1円で利用できる「プレミアムポイント」も追加でもらえます。

★ プレミアムポイント ★ = 1.5%

キャンペーンなどを実施していない時は、チャージ額の1.5%のプレミアムポイントを付与します。



# 1.5%

1万円のチャージで**1万150円分**のお買い物

つまり、1万円のチャージで1万150円分のお買い物が楽しめます。



(例) プレミアムアップキャンペーン

**10%**

1万円のチャージで**1万1,000円分**のお買い物

**1.5%**

1万円のチャージで**1万150円分**のお買い物



アプリ版



カード版

tengooには、アプリ版とカード版があります。



アプリ版



カード版

アプリまたはカードを入手して、市内のチャージができるお店や市の窓口で、現金を支払い、tengooをチャージします。



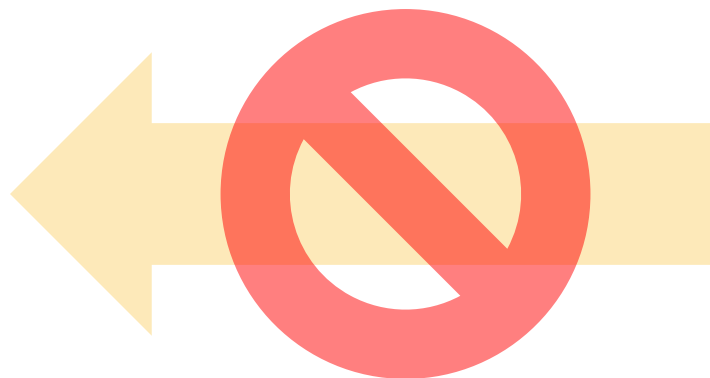
※本格稼働後も同様の運用です

加盟店でのポイントの利用額は、沼田市が確認して、月2回、精算を行います。

請求・書類送付等々  
なし



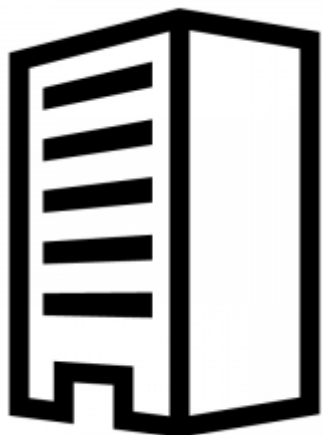
沼田市



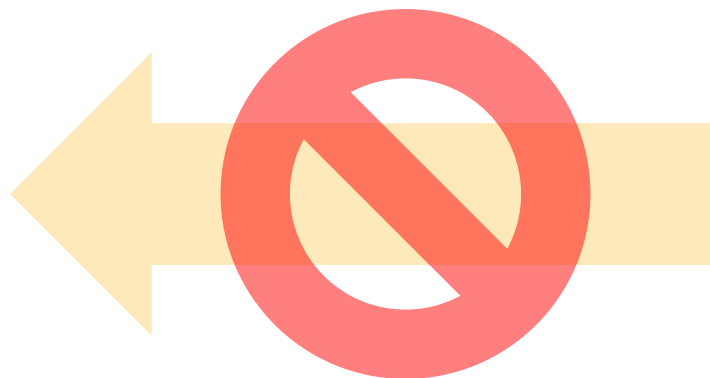
加盟店

加盟店での全てのtengooの取引記録は、沼田市がシステムで確認できます。

請求・書類送付等々  
なし



沼田市



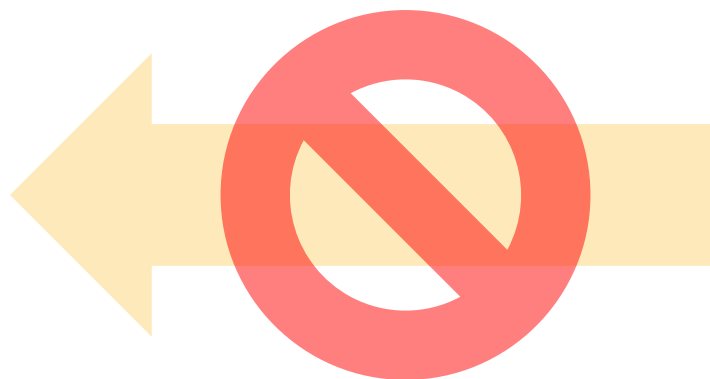
加盟店

そのため、精算時に請求書や利用額を記載した書類を送っていただくといった手間はありません。

振込手数料  
なし



沼田市



加盟店

また、精算時の振込手数料は、無料です。



## システム利用料

tengooは、加盟店のみなさんに一定の「システム利用料」をご負担いただく仕組みとなっています。





# システム利用料      tengoo利用額の **1.8%**

(他の電子マネー・クレジットカード等の決済手数料 : **1.6% +  $\alpha$  ~ 3.75%**程度)

このシステム利用料は、各加盟店でのtengoo利用額の1.8%です。



**システム利用料**

**プレミアムポイント** の発行に利用

このシステム利用料は、ほとんどを利用者のプレミアムポイントの付与に充当します。



**システム利用料**

**プレミアムポイント** の発行に利用

そのため、いただいた利用料のほとんどは、加盟店の手元に戻る仕組みとなっています。

システム利用料

1.8%

還元率 約83%

プレミアムポイント

1.5%

いただいたシステム利用料の約83%相当を利用者のプレミアムポイントの発行に充当します。

**1.8%**

**1.5%**



**0.3%**

**tengooの運営費（システム運営費）  
沼田市のまちづくり**

残りの0.3%は、このシステムの運用にかかる費用や、沼田市が実施するまちづくりのための事業に充当させていただきます。



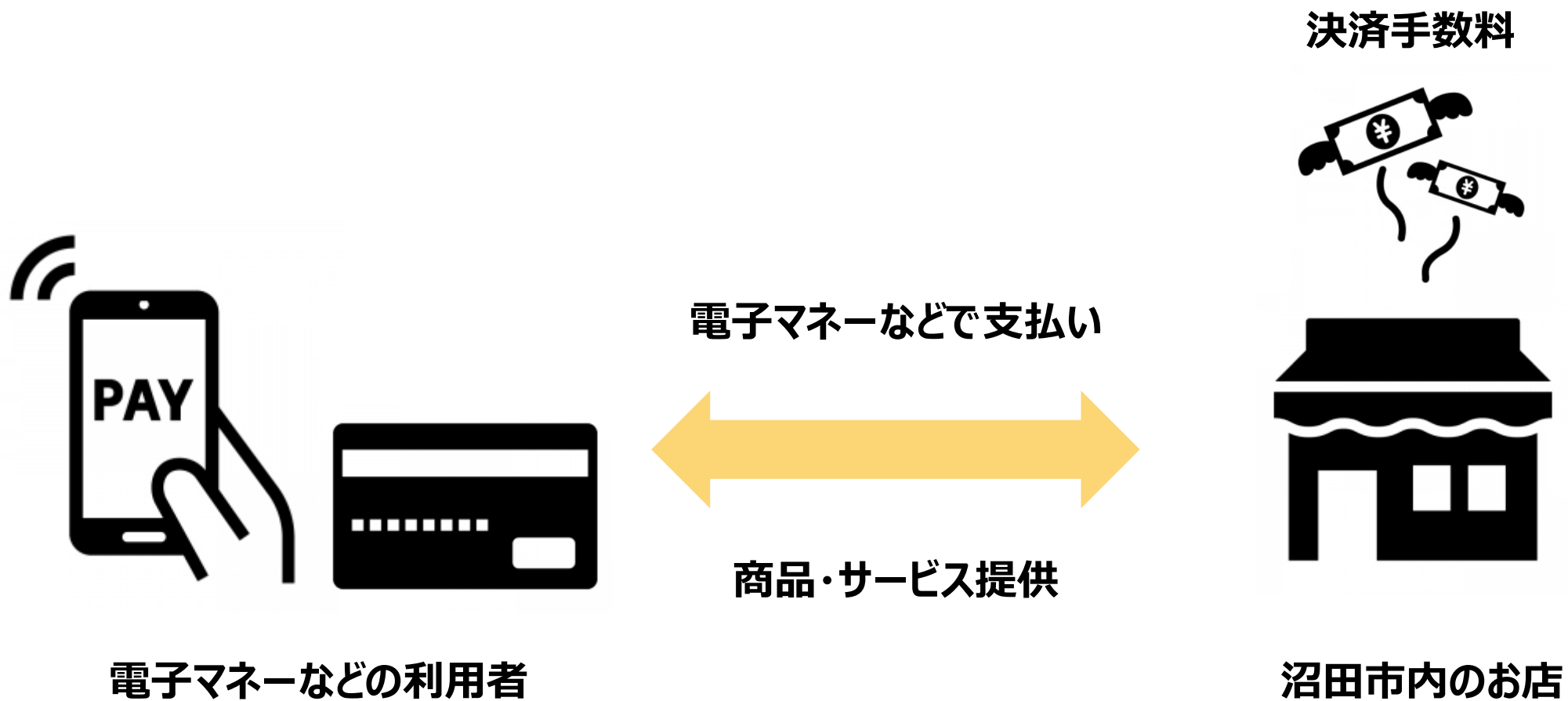
## 100%沼田市のために使う電子マネー

ここまでの仕組みでは、他の電子マネーと同様と思われる方も多いかもしれません。



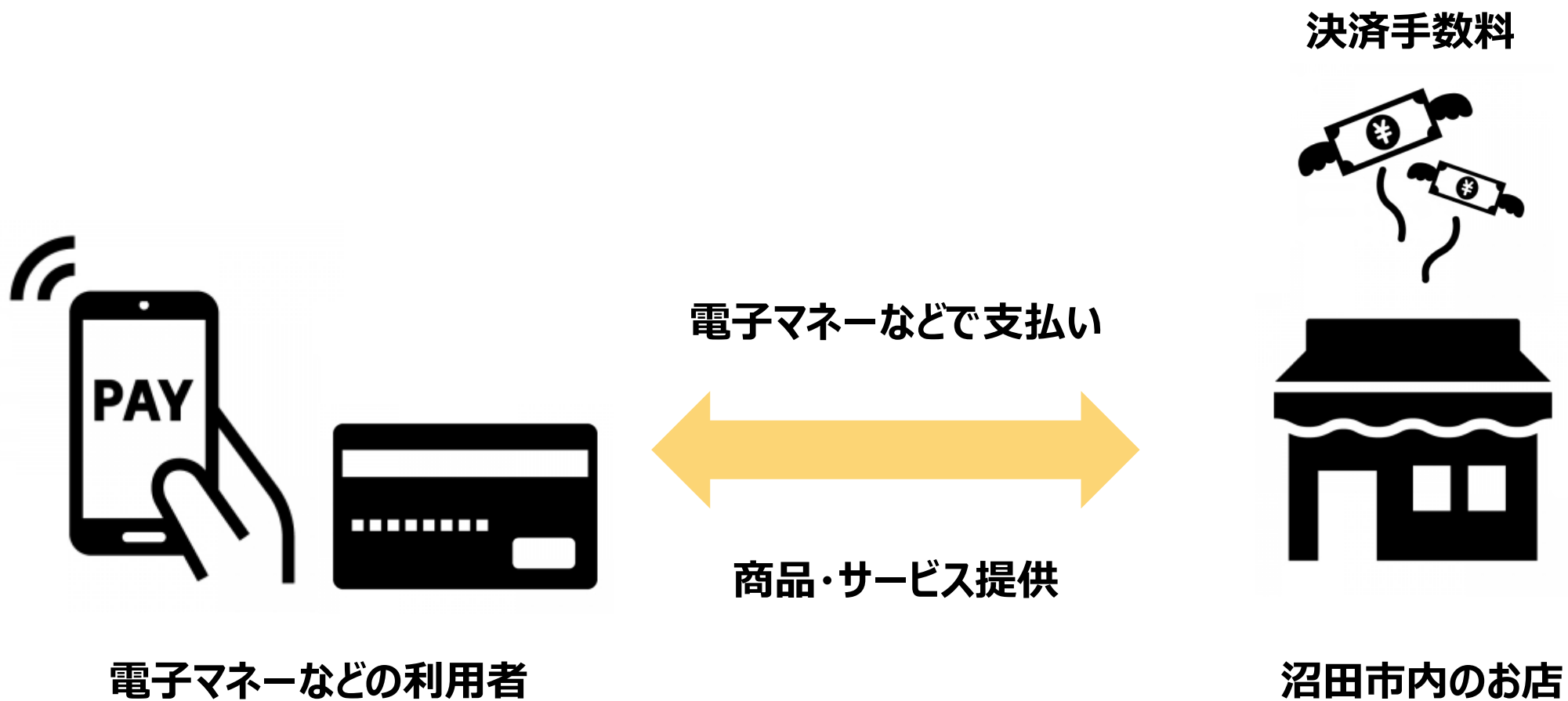
## 100%沼田市のために使う電子マネー

ですが、tengooは、沼田市が運営する、“100%沼田市のために使う電子マネー”という点が、大きく違います。



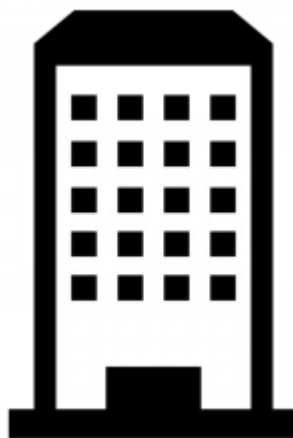
例えば、クレジットカードを市民のみなさんが利用した場合をご想像ください。





1回の決済ごとに決済の手数料が発生し、クレジットカードの会社に手数料を支払っていると思います。

## 決済手数料

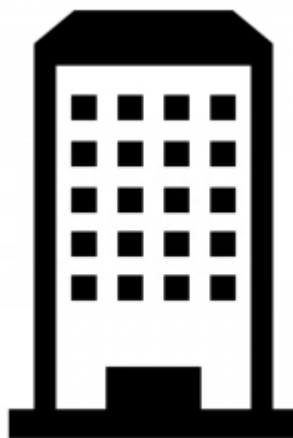


電子マネーなどの運営会社

(他の電子マネー・クレジットカード等の決済手数料：**1.6%+α~3.75%程度**)

この手数料は、本来であれば、使われたお店が受け取るべきお金です。

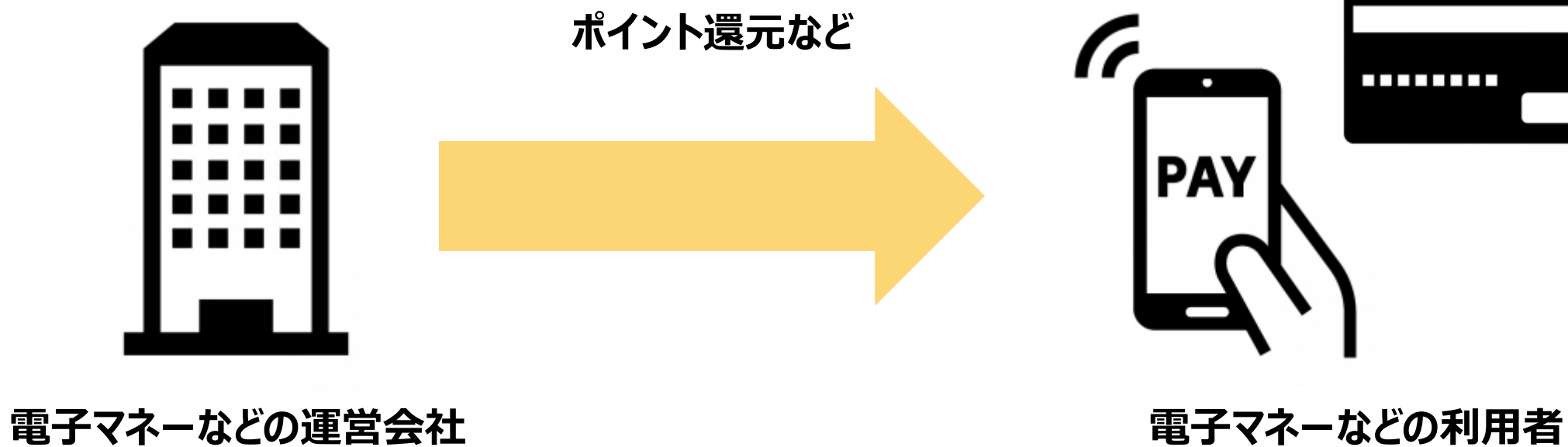
決済手数料



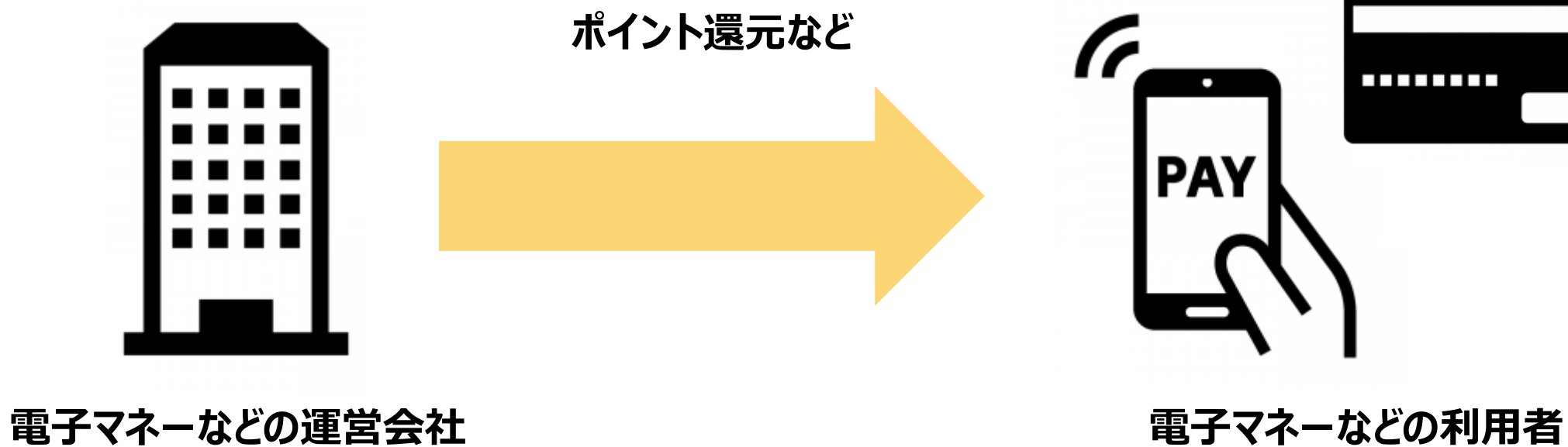
電子マネーなどの運営会社

(他の電子マネー・クレジットカード等の決済手数料：**1.6%+α~3.75%程度**)

ですが、実際は、このお金が、市外のクレジットカードを運営する事業者の利益となってしまいます。



もちろん、クレジットカードや電子マネーの手数料の一部も、利用者に還元されています。

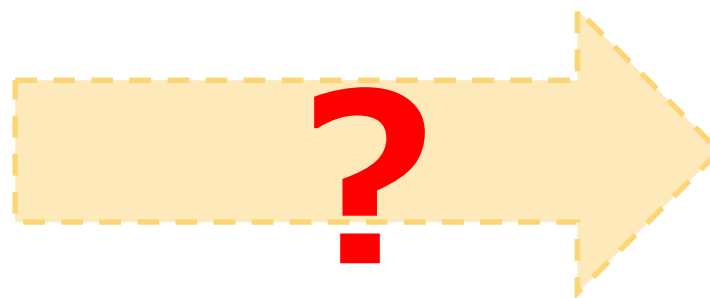


電子マネーの場合は、還元ポイントという形で利用者の手元に戻るものが多いため、追加の消費を誘発する効果はあります。



利用者

もらったポイントを消費



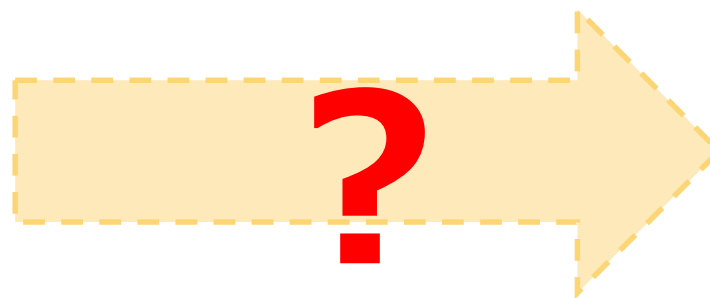
沼田市内のお店

ですが、そのポイントは、また市内のお店で利用されるとは限りません。



利用者

もらったポイントを消費



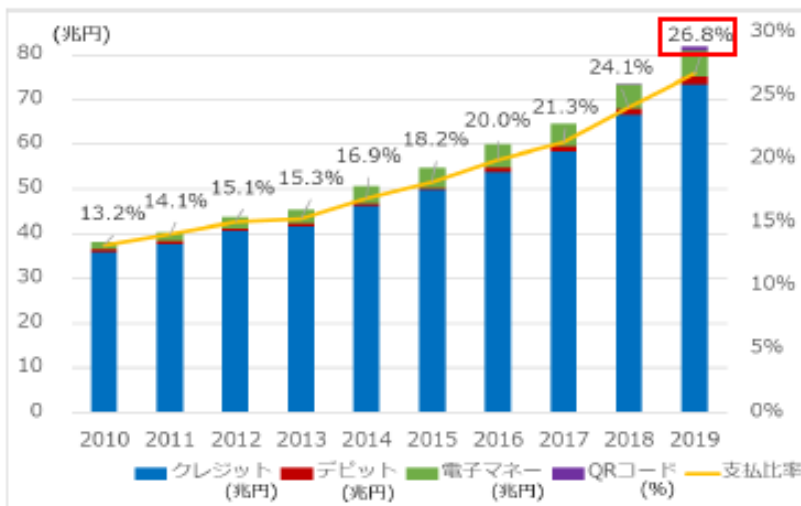
沼田市内のお店

インターネットでのお買い物や、市外のお店でのお買い物にも使えてしまいます。

# 日本の2019年のキャッシュレス決済比率について

- 日本の2019年のキャッシュレス決済比率は、26.8%。
- 2018年は、特にクレジットカードの伸びに牽引されてキャッシュレス決済比率が上昇したが、2019年は、クレジットカードのみならず、デビットカード、電子マネー、QRコード決済が伸び、特にQRコード決済の伸びが大きかった。

我が国のキャッシュレス支払額及び比率の推移



キャッシュレス決済比率の内訳の推移

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019
クレジット	15.4%	16.5%	18.0%	19.2%	21.9%	24.0%
デビット	0.15%	0.14%	0.30%	0.37%	0.44%	0.56%
電子マネー	1.3%	1.5%	1.7%	1.7%	1.8%	1.9%
QRコード	-	-	-	今回追加	0.1%	0.31%
計	16.9%	18.2%	20.0%	21.3%	24.1%	26.8%

注: 2018-2019年間のクレジットは+2.7%、デビットは+0.12%、電子マネーは+0.1%、QRコードは+0.26%、合計は+2.8%の増加を示しています。

$$\text{キャッシュレス決済比率} = \frac{\text{クレジットカード支払額} \times 1 + \text{デビットカード支払額} \times 2 + \text{電子マネー支払額} \times 3 + \text{QRコード決済支払額} \times 4}{\text{民間最終消費支出} \times 5}$$

(出典)

- ※1 (一社) 日本クレジット協会調査 (注) 2012年までは加盟クレジット会社へのアンケート調査結果を基にした推計値、2013年以降は指定信用情報機関に登録されている実数値を使用。
- ※2 日本デビットカード推進協議会(～2015年)、2016年以降は日本銀行「決済システムレポート」・「決済動向」
- ※3 日本銀行「決済動向」
- ※4 (一社) キャッシュレス推進協議会「コード決済利用動向調査」
- ※5 内閣府「国民経済計算」(名目)

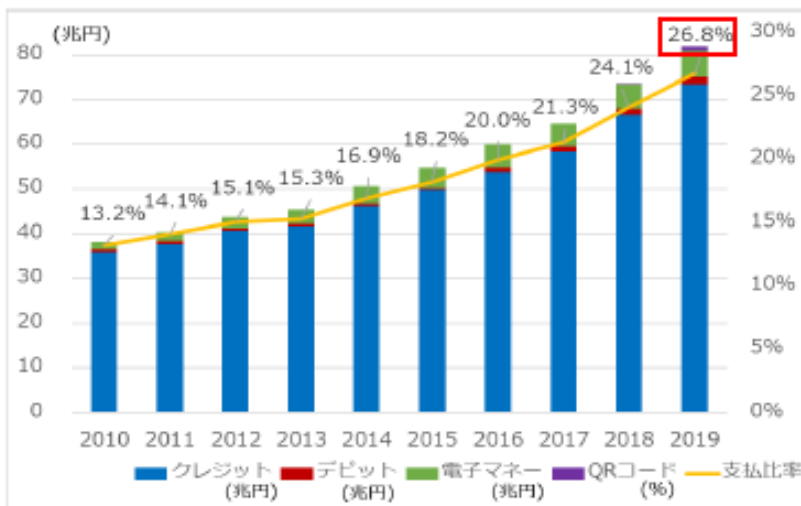
政府は、電子マネーの利用を国内でさらに普及させることを検討しています。



# 日本の2019年のキャッシュレス決済比率について

- 日本の2019年のキャッシュレス決済比率は、26.8%。
- 2018年は、特にクレジットカードの伸びに牽引されてキャッシュレス決済比率が上昇したが、2019年は、クレジットカードのみならず、デビットカード、電子マネー、QRコード決済が伸び、特にQRコード決済の伸びが大きかった。

我が国のキャッシュレス支払額及び比率の推移



キャッシュレス決済比率の内訳の推移

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019
クレジット	15.4%	16.5%	18.0%	19.2%	21.9%	24.0%
デビット	0.15%	0.14%	0.30%	0.37%	0.44%	0.56%
電子マネー	1.3%	1.5%	1.7%	1.7%	1.8%	1.9%
QRコード	-	-	-	今回追加	0.1%	0.31%
計	16.9%	18.2%	20.0%	21.3%	24.1%	26.8%

注: 2018年から2019年までの変化率: クレジット (+2.7%), デビット (+0.07%), 電子マネー (+0.07%), QRコード (+0.12%), 計 (+2.8%)

$$\text{キャッシュレス決済比率} = \frac{\text{クレジットカード支払額} \times 1 + \text{デビットカード支払額} \times 2 + \text{電子マネー支払額} \times 3 + \text{QRコード決済支払額} \times 4}{\text{民間最終消費支出} \times 5}$$

(出典)

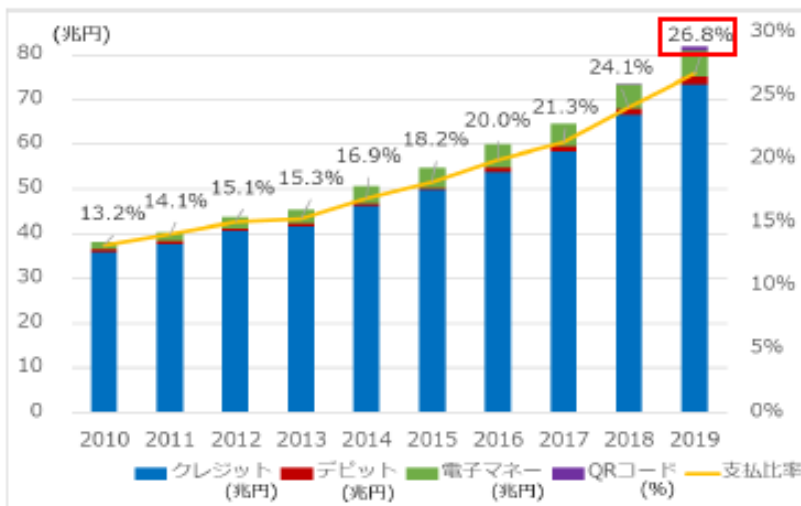
- ※1 (一社) 日本クレジット協会調査 (注) 2012年までは加盟クレジット会社へのアンケート調査結果を基にした推計値、2013年以降は指定信用情報機関に登録されている実数値を使用。
- ※2 日本デビットカード推進協議会(～2015年)、2016年以降は日本銀行「決済システムレポート」・「決済動向」
- ※3 日本銀行「決済動向」
- ※4 (一社) キャッシュレス推進協議会「コード決済利用動向調査」
- ※5 内閣府「国民経済計算」(名目)

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、いわゆる非接触型の決済方式を選択する方も多くなりつつあります。

# 日本の2019年のキャッシュレス決済比率について

- 日本の2019年のキャッシュレス決済比率は、26.8%。
- 2018年は、特にクレジットカードの伸びに牽引されてキャッシュレス決済比率が上昇したが、2019年は、クレジットカードのみならず、デビットカード、電子マネー、QRコード決済が伸び、特にQRコード決済の伸びが大きかった。

我が国のキャッシュレス支払額及び比率の推移



キャッシュレス決済比率の内訳の推移

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019
クレジット	15.4%	16.5%	18.0%	19.2%	21.9%	24.0%
デビット	0.15%	0.14%	0.30%	0.37%	0.44%	0.56%
電子マネー	1.3%	1.5%	1.7%	1.7%	1.8%	1.9%
QRコード	-	-	-	今回追加	0.1%	0.31%
計	16.9%	18.2%	20.0%	21.3%	24.1%	26.8%

注: 2018年から2019年までの変化率: クレジット (+2.1%), デビット (+0.12%), 電子マネー (+0.1%), QRコード (+0.26%), 計 (+2.7%)

$$\text{キャッシュレス決済比率} = \frac{\text{クレジットカード支払額} \times 1 + \text{デビットカード支払額} \times 2 + \text{電子マネー支払額} \times 3 + \text{QRコード決済支払額} \times 4}{\text{民間最終消費支出} \times 5}$$

(出典)

- ※1 (一社) 日本クレジット協会調査 (注) 2012年までは加盟クレジット会社へのアンケート調査結果を基にした推計値、2013年以降は指定信用情報機関に登録されている実数値を使用。
- ※2 日本デビットカード推進協議会(～2015年)、2016年以降は日本銀行「決済システムレポート」・「決済動向」
- ※3 日本銀行「決済動向」
- ※4 (一社) キャッシュレス推進協議会「コード決済利用動向調査」
- ※5 内閣府「国民経済計算」(名目)

利用が普及する速度は、これまでよりも早くなることが予想されます。



## 沼田市電子地域通貨tengoo（てんぐー）

こうした状況を受けて、沼田市では電子地域通貨の導入を決定しました。

利用者がtengooをチャージ

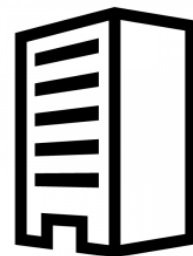
市内の加盟店で利用



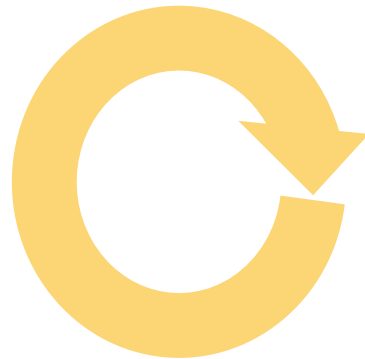
市内の加盟店



システム利用料



沼田市



プレミアムポイントを利用者に還元

還元率 約**83%**

tengooは、沼田市内の加盟店だけで使える電子マネーですから、利用者に還元されたポイントは必ず加盟店で利用されます。

利用者がtengooをチャージ

市内の加盟店で利用



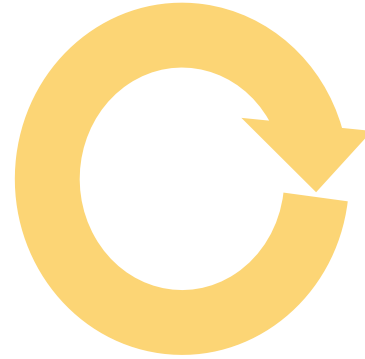
市内の加盟店



システム利用料



沼田市



プレミアムポイントを利用者に還元

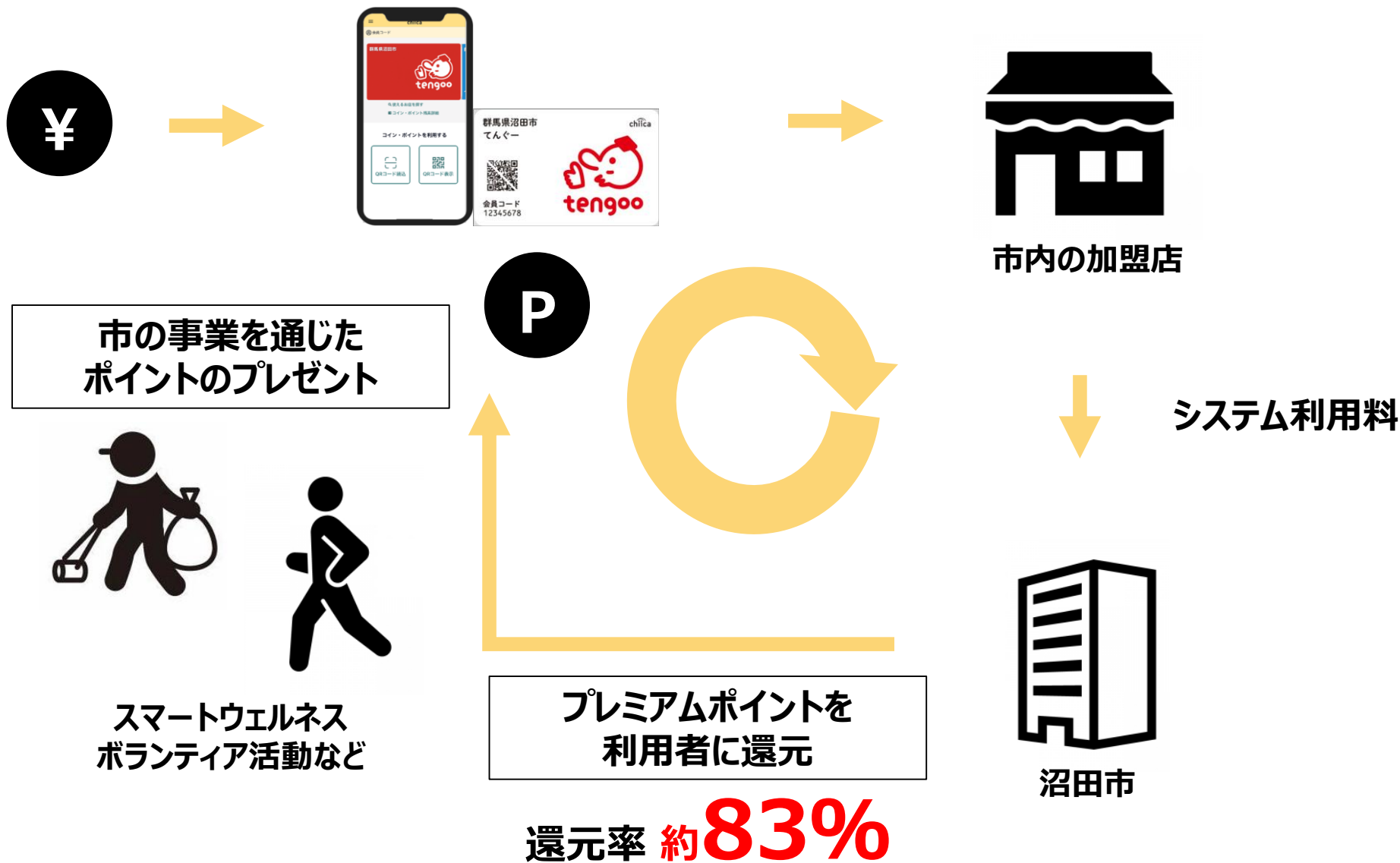
還元率 約**83%**

もちろん、他の電子マネーなどと同様に、利用者のみなさんにとっての“お得な仕組み”も残しています。



利用者がtengooをチャージ

市内の加盟店で利用

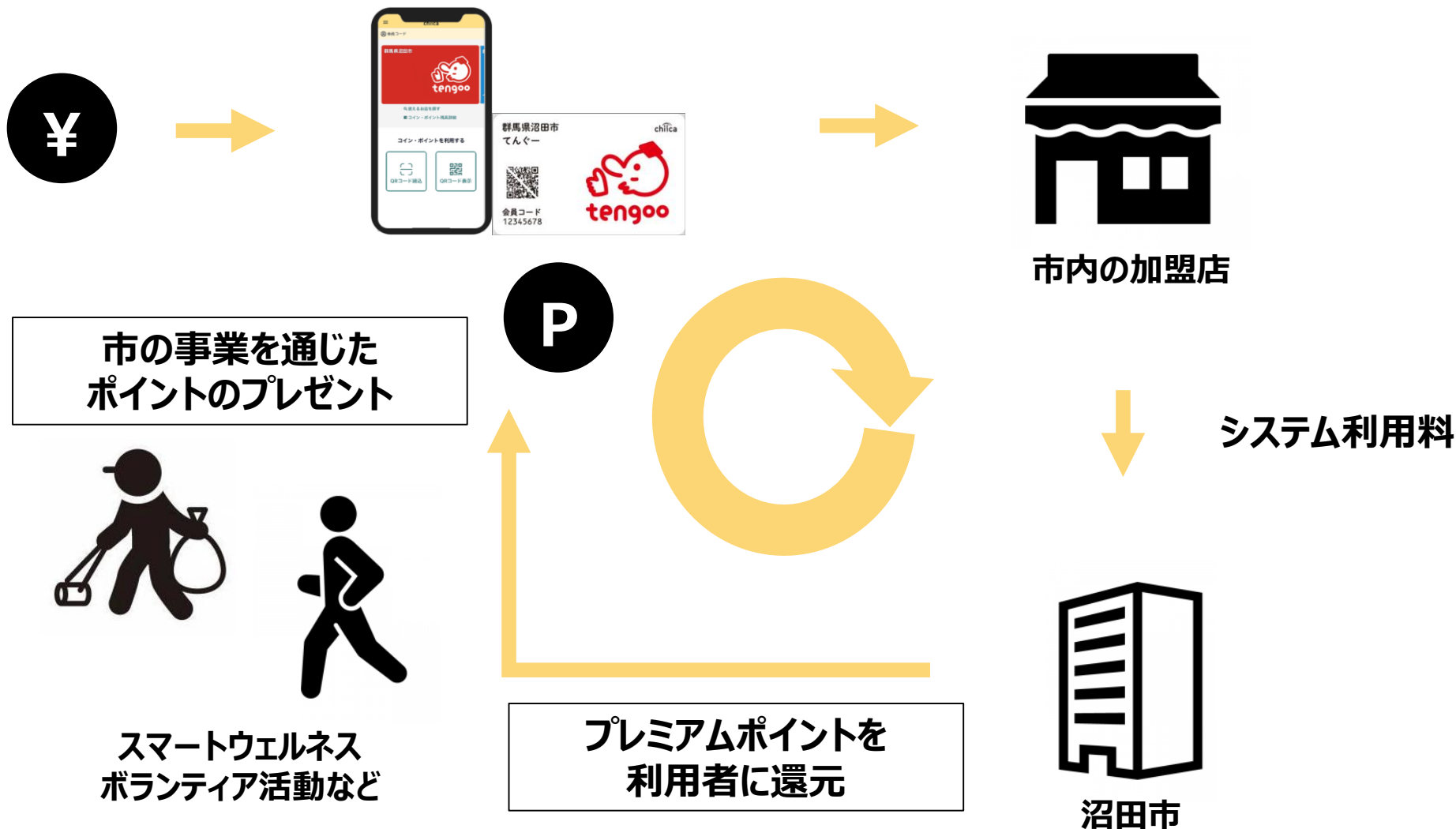


また、沼田市ではチャージで付与されるプレミアムポイントのほかにもポイントを付与することを検討しています。



利用者がtengooをチャージ

市内の加盟店で利用



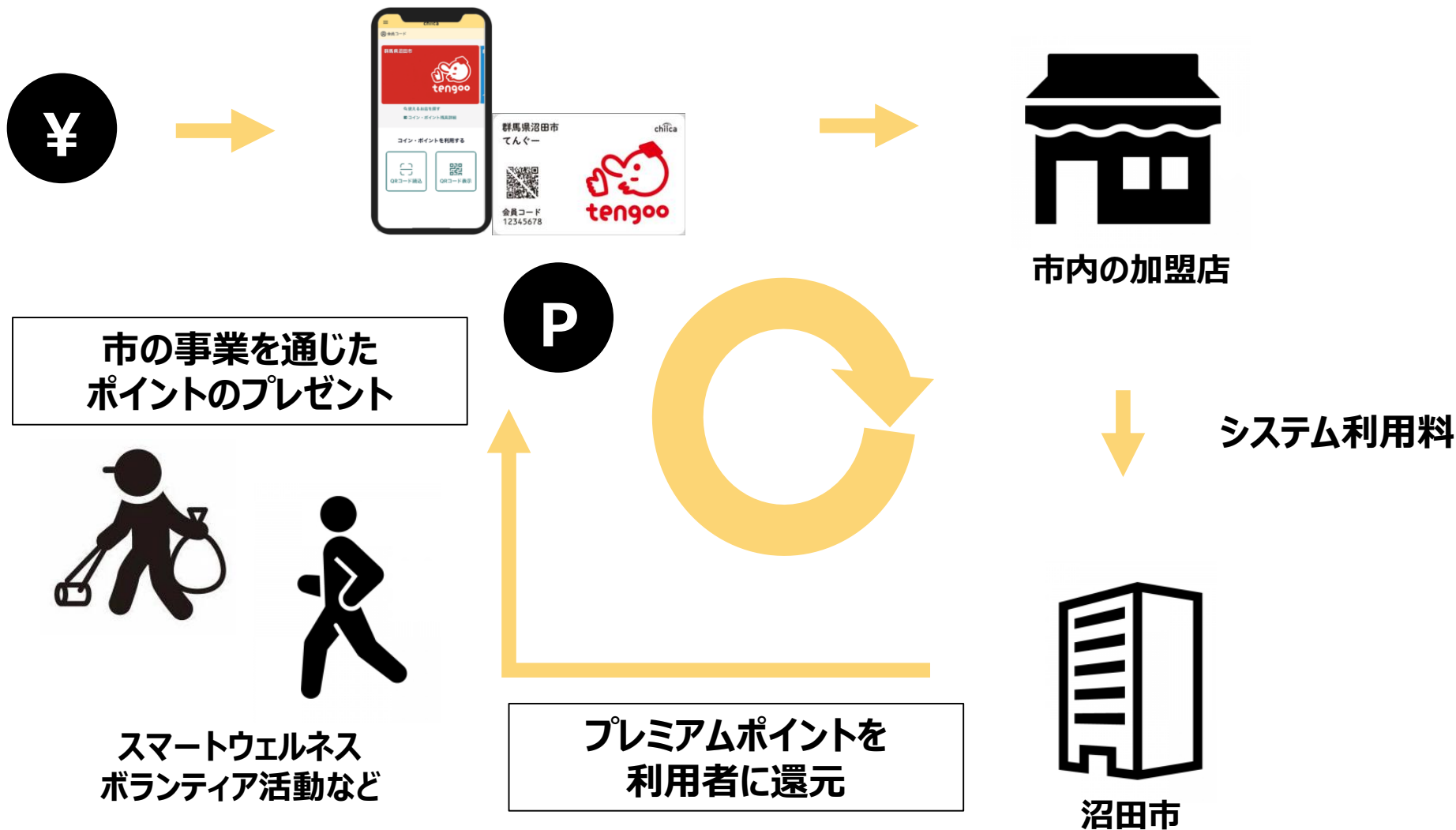
還元率 約**83%**

例えば、沼田市の事業に参加してくださった方や、ボランティア活動に従事された方・・・



利用者がtengooをチャージ

市内の加盟店で利用



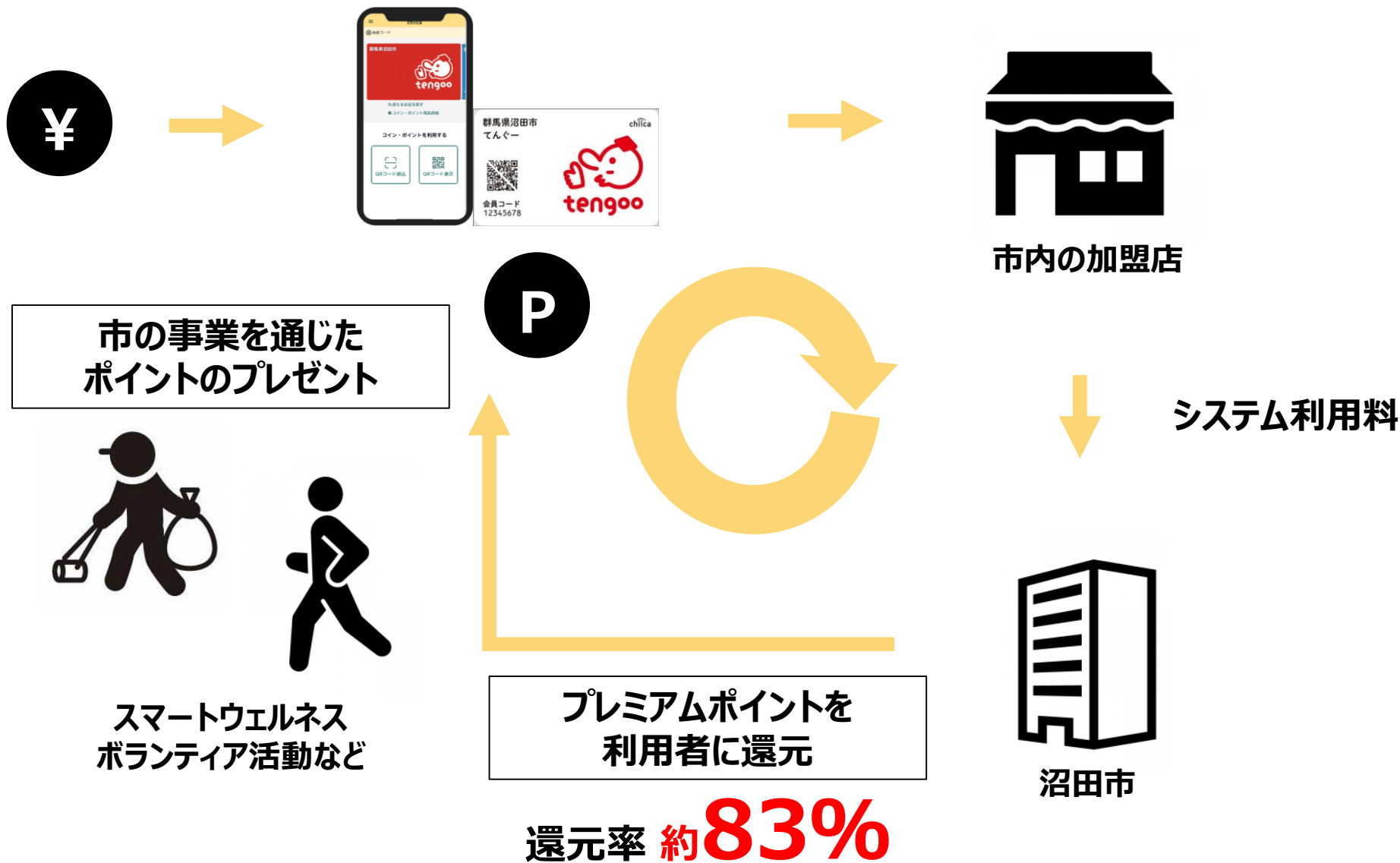
こういった方にtengooのポイントをプレゼントすることも検討しています。





利用者がtengooをチャージ

市内の加盟店で利用

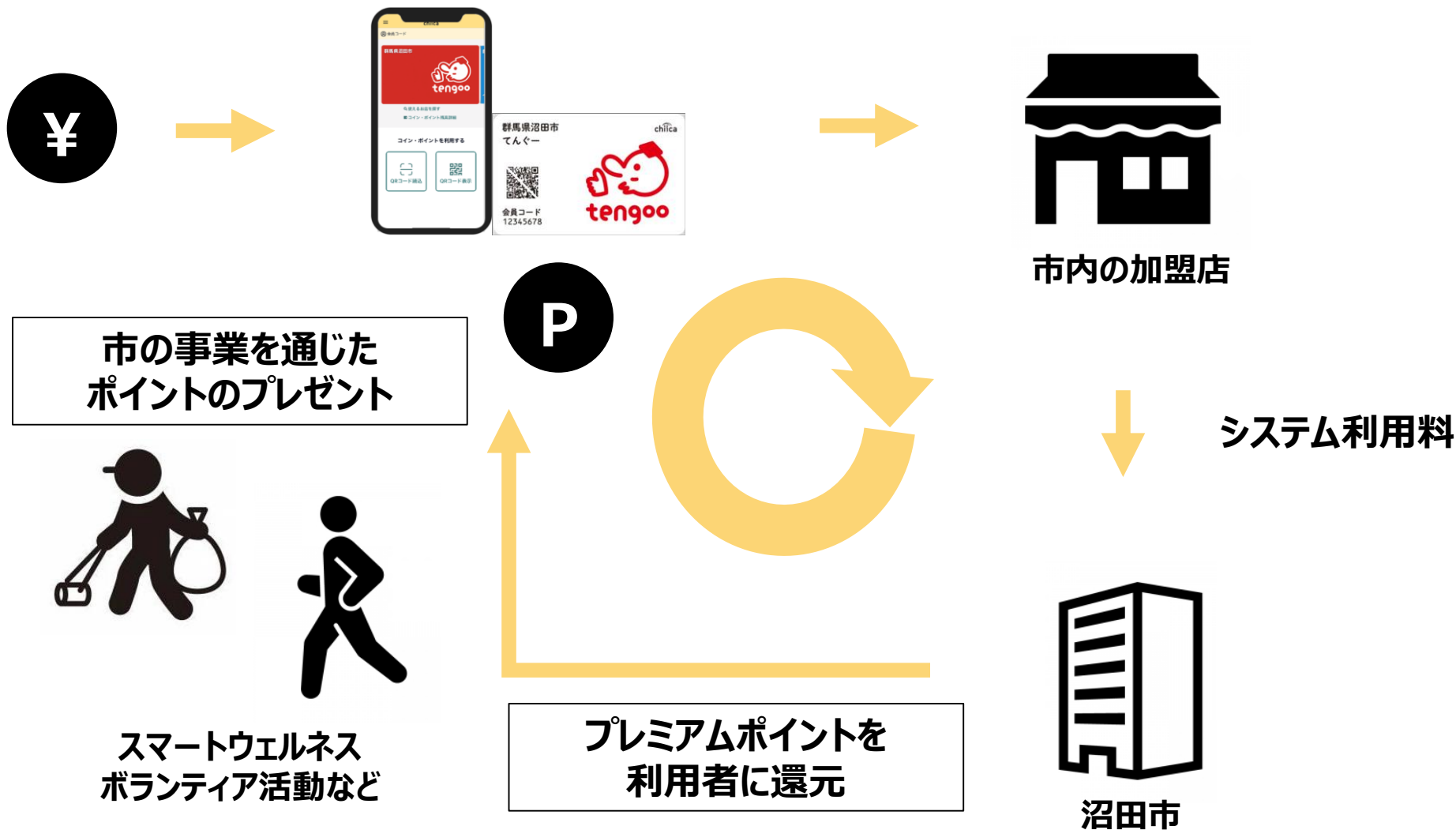


このほかにも、沼田市の事業に参加いただいた方にお渡ししていた景品類や、金銭的な支援を行う一部の扶助事業なども



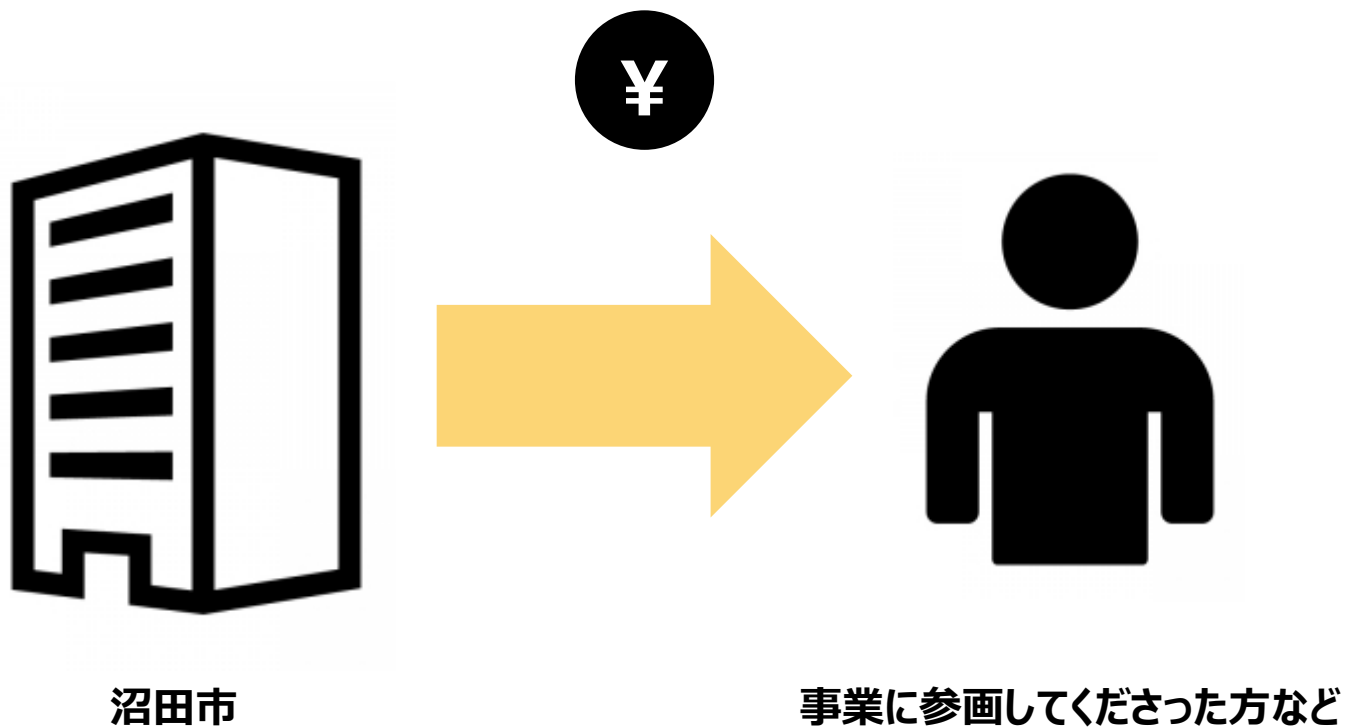
利用者がtengooをチャージ

市内の加盟店で利用

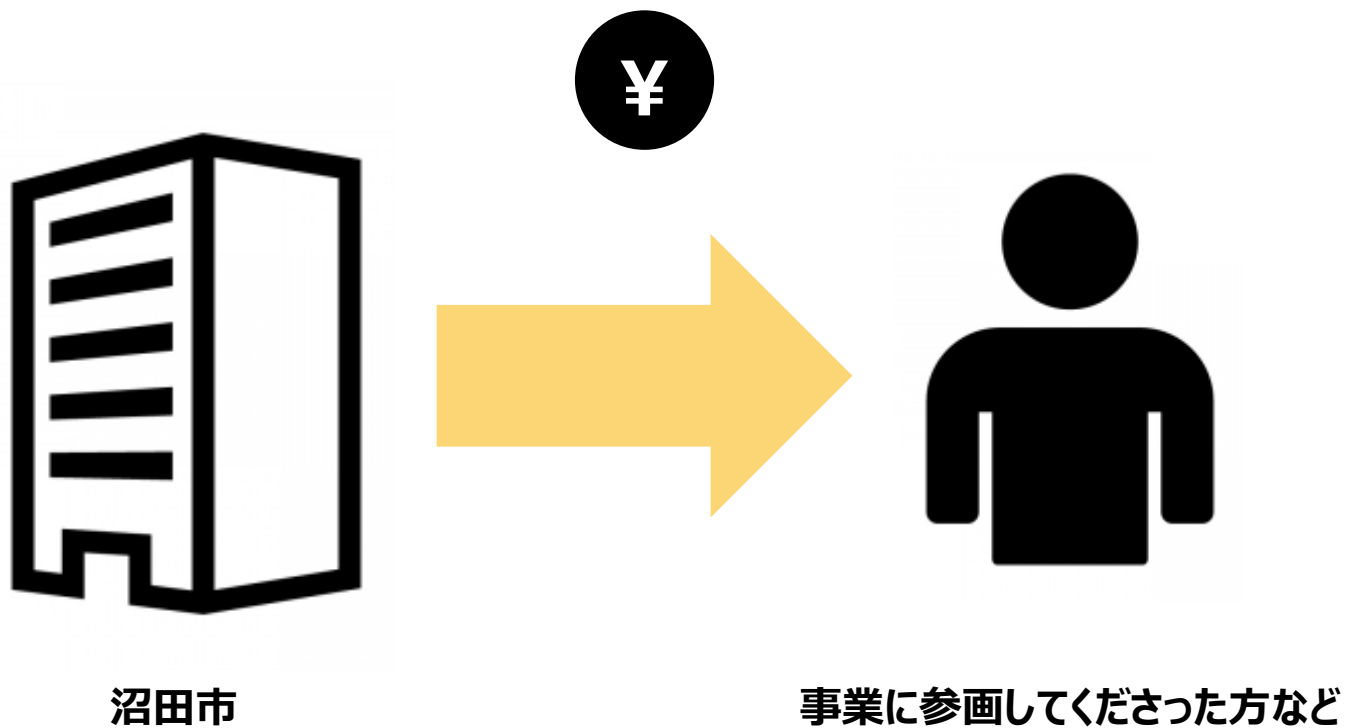


還元率 約**83%**

一部をtengooに置き換えることができないか、検討を進めています。



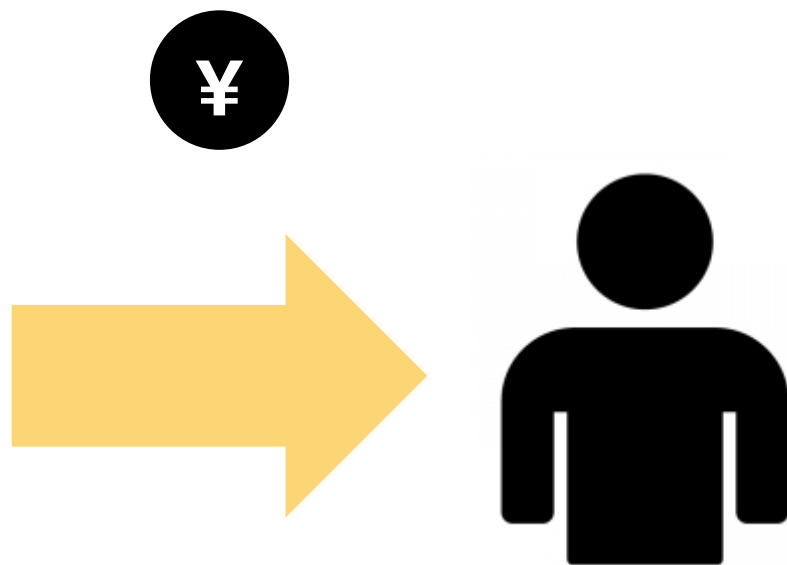
今までは、沼田市の事業を通じてお渡しするお金があっても



沼田市から個人の方までのお金の流れで止まってしまっていた状況がほとんどでした。



沼田市

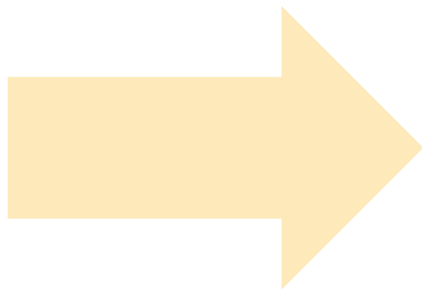


事業に参加して下さった方など

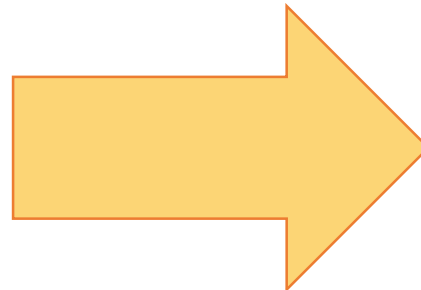
また、お金をモノに返還してお渡しする景品なども同様です。



沼田市



事業に参画して下さった方など

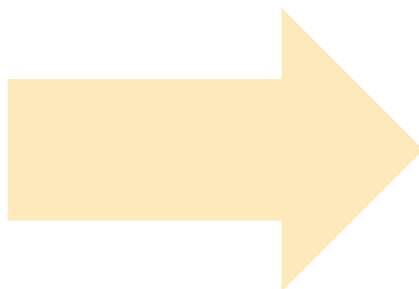


加盟店

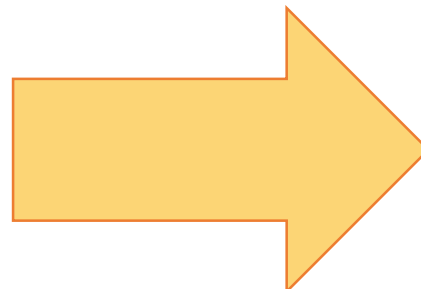
しかし、tengooでは、さらに“加盟店での利用”という消費行動を生み出すことができます。



沼田市



事業に参画して下さった方など



加盟店

これは、沼田市が支出する1円の価値を大きく向上させるもので、積極的に推進していきたいと考えています。



ただし、tengooには、課題もたくさんあります。



チャージ場所が少ない



利便性やサービスという面においては、そもそもチャージをする場所が少ないこと。

非対面のチャージがない

チャージ場所が少ない



非対面のチャージの方法が今のところはないこと。

ノウハウの蓄積がない

非対面のチャージがない

チャージ場所が少ない

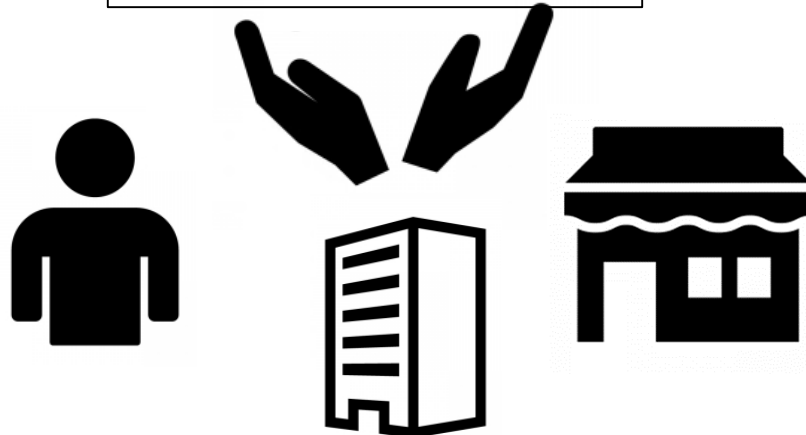


また、初の試みであり、ノウハウの蓄積もまだまだ未熟で、他の電子マネー等と比較すると見劣りする点があるのはたしかです。

ノウハウの蓄積がない

非対面のチャージがない

チャージ場所が少ない



この点に関しては、利用者みなさんや加盟店みなさんのご協力が必要だと考えています。

ノウハウの蓄積がない

非対面のチャージがない

チャージ場所が少ない



利用者みなさんには、ぜひtengooを利用していただけますようお願いいたします。

ノウハウの蓄積がない

非対面のチャージがない

チャージ場所が少ない



また、事業者のみなさんには、ぜひtengooの加盟店へのご登録をお願いいたします。

未来の沼田をつくる新しいおカネ



沼田市電子地域通貨tengoo（てんぐー）

みなさんと育てる未来の沼田をつくる新しいおカネ

未来の沼田をつくる新しいおカネ



沼田市電子地域通貨tengoo（てんぐー）

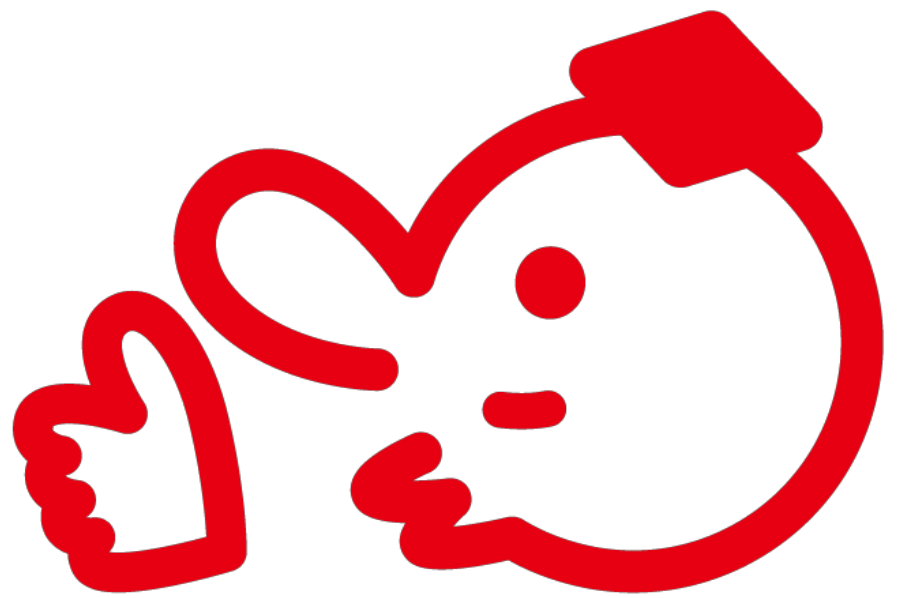
沼田市電子地域通貨tengooよろしくお願いたします。





市ホームページ

詳細は、市ホームページにも掲載していますので、あわせてご覧ください。



tengoo